

第18次ネパール・教育支援の旅報告書

2016.3.19

中野 千恵子、西澤 忠

天候に恵まれた第18次教育支援の旅が無事終了しました。毎日宿泊ホテルが変わるなどハードな行程でしたが、全員でシギリヤロックに登り、平和寺で旅の息災祈願をして頂きネパールに入りました。まずなんといってもルンビニ地区支援校が地震の被害がなかった事を自分たちの目で確認できてよかったなあ〜と実感したことです。サラソティ小学校は教室の内外装を残すのみで完成していました。仮の引渡しを行いました。早く完成させて欲しいものです。またルンビニ地区の状況を把握した上でラマ理事を交えて今後の活動の方向などを議論しました。一方カトマンドゥ近郊では大地震の爪痕が多く残っていました。緊急支援した学校(2校)の現場をみました。時間の関係で多くの学校を見られなかったのは残念ですが、ネパール・ミカの会の活動が機能したと想像出来る視察でした。更にボダナートにて4名の僧侶を迎えて大地震で亡くなった方々の御霊を法要致しました。今回は添乗して頂いたゴビンダさん及び現地ラマ理事のお骨折りと参加メンバーのご協力および日本側の加藤理事の支援を頂き、概ね所期の目的を達成したものと総括します。以下教育支援関連を中心に主な事項について報告致します。

記

期 間; 2016年3月02日～3月10日

参加者; 8名(肩書・敬称略、本文中も同じ)

(日本から) 今村 旭、大谷 安宏、中野 千恵子、西澤 忠、
濱崎ヤスエ、松浦 陽子、山下 繁憲、和田 泰子

現 地; スルブ ラマ氏

添乗員; マハルジャン ゴビンダ氏

訪問地; (宿泊ホテル)

3月2日 羽田⇒香港⇒スリランカ・ネゴンボ(コバンロ ホテル)

3月3日 スリランカ「キャンディ・仏歯寺・ダンブッラ」(ホテル シギリヤ)

3月4日 スリランカ「シギリヤロック・平和寺」(ラマダ・カトナヤケ ホテル)

3月5日 スリランカ・ネゴンボ⇒ムンバイ⇒ネパール・カトマンドゥ(バイシャリ ホテル)

3月6日 カトマンドゥ⇒バイラワ⇒ルンビニ「**サラソティ小学校・ティナウ小中校・マズワニ小中高校**」
(ブッダマーヤ ホテル)

3月7日 ルンビニ「**シリ シリラム小中校・スンディ小中高校・アディアリ小中高校・グルワニマイ小中高校**」
⇒バイラワ⇒カトマンドゥ(パタレバン リゾート ホテル)

3月8日 カトマンドゥ「**バルボダ高校・シリ シラデビー小学校**」(バイシャリ ホテル)

3月9日 カトマンドゥ「**パドゥマ カニヤ女子校/ボダナート(慰霊法要)**」⇒香港⇒

3月10日 ⇒成田



1 教育支援活動

ここからは「ルンビニ地区」、及び「カトマンドゥ地区」の主として教育支援活動について報告します。

今回時間の制約及び6日～8日は祭日ということもあり、サラソティ小学校で校舎の仮引渡しをした後、ティナウ小中校及びマズワニ小中高校に運動用具をマズワニ高校の生徒にLEDソーラーランタンを渡しました。また7日は生徒のいない支援校4校の視察を行いました。

訪問した学校における活動状況・支援内容を下表に示します。更に学校毎の状況を2～3枚の写真と共に紹介・報告します。

第18次教育支援の旅既支援状況表

注)h:時間、m:分

訪問日	学校名(略名)	支援内容							備考	滞在時間(注)		
		袋	鉛筆	バレーボール	バトミントン	テニスボール	縄跳び	LEDソーラーランタン			その他	
6	サラソティ小学校	200	400/2本・人	2	5式	40	4		○	仮引渡し式	1h	
	ティナウ小中校		300	2	4式	30	3		○	児童・生徒増加	30m	
	マズワニ小中高校			2	2式	35	3	93個	○	8学年以上にランタン	1h	
7	シリ シリラム小中校									校舎がだいぶ傷んでいる。校長のみ	20m	
	スンディ小中高校									韓国支援2F建(9教室・1職員室)	15m	
	アディアリ小中高校			視察のみ								10m
	グルワニマイ小中高校									高校できた	15m	
9	パドゥマ・カニヤ女子校				6		10			ソロプチミストからの寄付金で女子教育関係図書購入予定	45m	

1) シリ・サラソティ小学校

この地で“地鎮祭”を執り行ったのは、3年前(2013年)の丁度同じ日3月6日でした。以来政治混乱による建築資材などの入手困難を乗り越えて、立派な校舎が建ちました。ラマ理事を始め学校・村の関係者のご尽力に感謝を申し上げます。日曜日にも拘らず、また霧により飛行機が遅れ学校到着が大幅遅れたのに「シマル」の花びらで型とった{WELCOME}で迎えてくれた約200名の児童・生徒及び多くの学校関係者・村人の皆さん、ありがとう！仮引渡しを行った後、成瀬中学校の生徒・父母の方々が作って下さった袋や鉛筆を一人一人に手渡しました。



内外装を残して完成した校舎(3教室)と室内。



袋と鉛筆を手に喜ぶ生徒達



替わっていた校長(サダハ アリ)に運動用具を渡す

2) ティナウ小中学校

元気な子供たちの歓迎を受けました。生徒とテニスボールで遊び楽しい交流のひと時でした。また敷地内に立派なトイレが出来ていて中も綺麗でした。



立派なトイレ(男女共個室)

図書室の中

テニスボールで遊ぶ

替わっていた校長(バダリ・プラサド・パル)に
鉛筆とテニスボールを渡す

3) マズワニ小中高校

学校の周囲に塀が出来ていました。8学年～10学年の生徒に“LEDソーラーランタン”を渡し、(SLC合格に向け)家で勉強して欲しいと伝えました。学生達はソーラーもLEDもよく知っているようでした。その他テニスボールやバドミントンなどの運動用具を渡しました。



ランタンの説明を聞いている

運動用具を渡す

図書室内

周囲にできた塀とトイレ

夜ランネさんに案内してもらって、ランタンの使用状況・明るさ確認に、昼間ランタンを渡したメイラワル村生徒の家を訪問しました。山下井戸が使われていて、うれしくなりました。

この村には電気が入っていますが、一日15時間の停電もありランタンが有効であると思いました。また明るさも写真の通り教科書を読んだり書くに十分であることも確認できました。



Simanawさんとお母さん



Aarti Kalwarさんと妹さん

4) シリ・シリラム小中校、スندی小中高校、アディアリ小中高校、グルワニマイ小中高校



建築後15年以上経っている「シリ・シリラム」は痛みが激しく早めの修繕が必要です。また校舎裏側に教科書などを破いた紙が散乱していて、衛生上も良くないので焼却施設などが必要だと思いました。



韓国(僧侶?)がスندیに2015/11に完成させた校舎(9教室+1職員室)



グルワニマイに高校ができた。左端の校舎の上に教室が出来ていました。右側に門を設置中。

5) パドゥマ カニヤ女子校

ソロプチミスト町田-さつき からいただいた寄付金をお渡しし、ご要望のあった女子教育の充実に使って欲しい旨申し入れました。学校(校長)とラマ理事で相談の上対処してもらうことにしました。校長の話ではSLC合格率は100%で優秀な生徒の顔写真を掲示することになっていますとのこと。またインドの支援で、今後2年間で女子寮の建設を予定している他女子教育充実のため、実験室を考えているとのこと。各階にトイレが4室ずつ整備されていました。また敷地内に別組織の大学が併設されていました。



壁がきれいに塗装された校舎



2年ぶりに校長と再会



ソロプチミストの寄付金を渡す



バドミントンなど運動具を渡す



成績優秀者の顔写真掲示

2 大地震罹災学校の現状

被災学校の状況を報告する前に、今回参加メンバーは、昨年4月地震発生後初めてネパールに入った事もあるので、見聞した事を若干記したいと思います。なお昨年9月加藤理事が現地に行って調査・写真等を報告しているのでそちらも参照して下さい。まずカトマンドゥ市内の表通りは被災を感じさせず普通通りの生活が行われているように見えました。但しガソリン・LPガスを手しようとする車列は相変わらず長い。被害の大きかった「サクー市」の被害を目にして言葉を失いました。またテント村の仮設テントはまだ多く残っていました。しかし大変な被害にも拘らずネパールの人々・子供達はあかるく人懐っこい。テントの住人は壊滅的な被害にあった村人が多いようですが、蛇口を捻れば水が出たり、買い物も便利な都会に住み込んでしまうと村に帰らなくなるのではないかと問題になりそうとの事。自立を願わずにはいけない気持ちになりました。

さて学校ですが地震発生後、当会はラマさんやゴビンダさんのグループの活躍により早い段階から救援活動をしてきました。この実績は会報54号・55号やHPなどで報告している通りであり、このうち今回時間の制約から2校を訪問しました。

1) シリ・バルボダ高校

被災した校舎を視察しましたが、L字の3階建コンクリート作りの屋根が崩れ、壁には大きな亀裂が走るなど、地震の凄さを目のあたりします。学校が休みで子供たちがいなかったことがせめてもの幸いだったか。学校の前の家も全壊していました。現在生徒達は、田んぼに囲まれた竹とタン屋根で作った仮校舎で学んでいます。雨つゆを防ぐだけの小屋である。ここでも子供達は我々を笑顔で迎えてくれました。テニスボールやバドミントンなどの運動用具を渡しました。



中庭にあった小屋が崩壊



視察するメンバー



教室の壁にも亀裂が入っている



学校の前にある全壊した家



仮設校舎と室内(竹で柱を組み、波板で囲ってある)



笑顔で迎えてくれた



テニスボール、バレーボールなどを渡す



2) シラデビー小学校

右手にナガルコットのカントリービラの白い建物を望み、霞がなければヒマラヤを一望出来る絶景のビューポイントにある。地震の時まわりの村は山ごと動き、家々は全壊したとのこと。サンセットビューが関係して建てた平屋の校舎は地震の被害はないようであった。急斜面の中腹に立っている校舎の余り広くない校庭で、校長先生にボールと鉛筆を渡していると近所の子供たちが集まってきたのでテニスボールを渡し一緒に遊びました。



カントリービラ



教室が5クラスある校舎



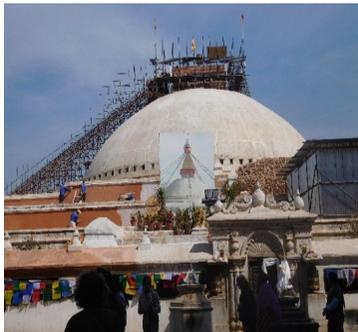
校長に運動具・鉛筆を渡す



テニスボールをもらいっこり兄弟

3) ボーダナートで慰霊法要

ボーダナートも地震の被害にあい修復中でありましたが、今回の地震で亡くなった方々の慰霊をお坊さん4名をお願いして行い、全員でご冥福をお祈りしました。



4) その他

緊急支援に大活躍して下さいましたゴビンダさんのお兄さん(ラビさん)グループ(7名参加)にお礼をする簡単な会食をしました。